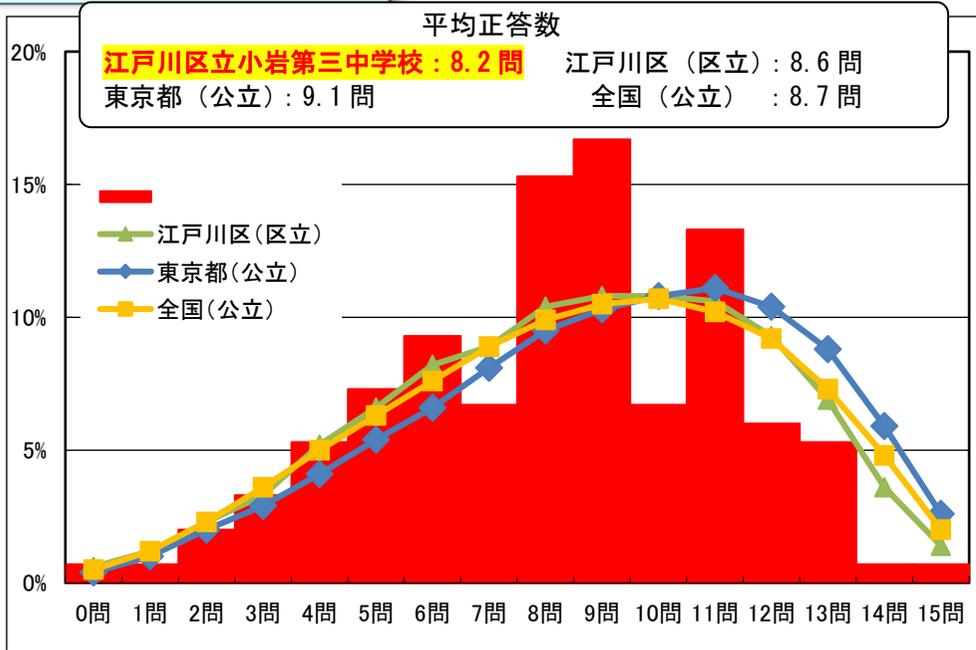
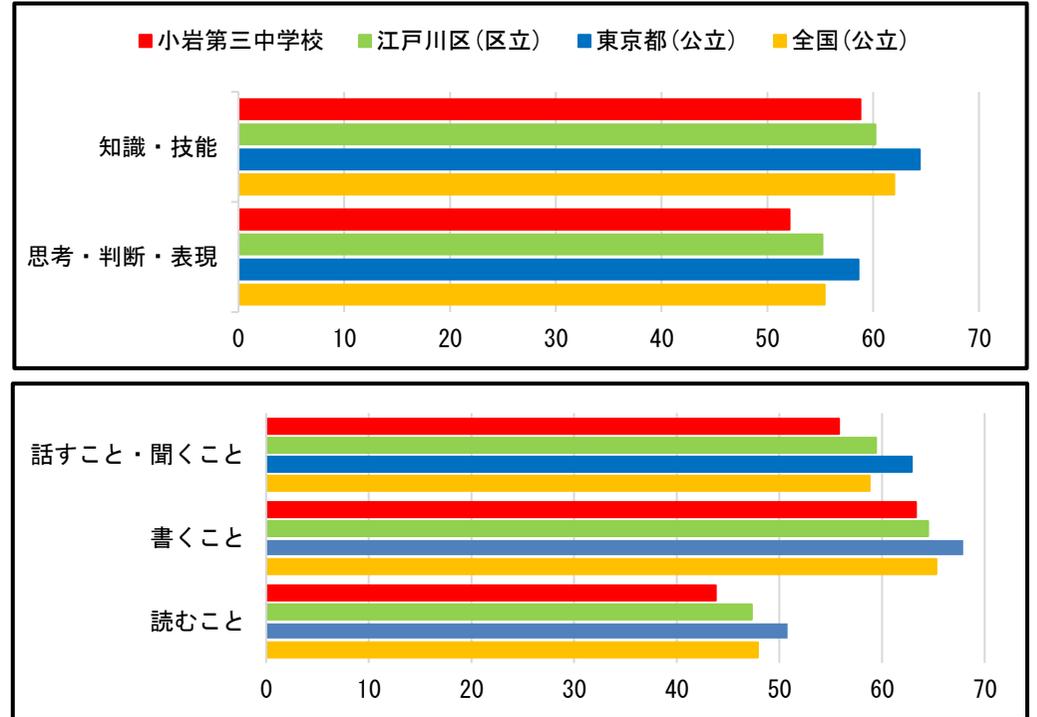


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 小岩第三中学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

国語	上位 ← 下位			
	A層 12～15問	B層 9～11問	C層 7～8問	D層 0～6問
小岩第三中学校	12.7	36.7	22.0	28.6
江戸川区（区立）	21.2	32.2	19.3	27.3
東京都（公立）	27.7	32.2	17.6	22.5
全国（公立）	23.3	31.4	18.8	26.5

【平均正答率の差】

小岩第三中学校	55%
江戸川区（区立）	57%
東京都（公立）	61%
全国（公立）	58.1%
都との差	-6ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

全体の傾向として「言語知識」が不足しており「思考判断」、特に「読むこと」に著しい影響を与えている。「書くこと」も苦手だと自覚する生徒が多い中、授業では意欲を見せ、一定の成果が出ている印象である。この書くことへの意欲を利用したい。改善策としては、どの单元でも「読むこと」を基本とし、その教材に沿った言語知識を獲得できるような記述式のワークシートを活用していく。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。